

ダイヤモンド電機、独パワーエレクトロニクス展示会に出展

ダイヤモンド電機は14日、6月5～7日に独ニュルンベルクで開催されるパワーエレクトロニクスの展示会「PCIM (Power Conversion Intelligent Motion) Europe 2018」に出展すると発表した。電気自動車(EV)向けソリューションとしてパワーエレクトロニクス製品を展示し、最先端技術を紹介する。



ダイヤモンド電機の超小型・軽量の絶縁双方向電力変換器

主な出展品は、▽車載充電器：同社開発のパワーモジュールや水冷構造を採用した電力容量3.3キロワット(kW)の車載充電器▽電力回生用DCDCコンバーター(1.2kW)：自然空冷でエンジンルーム内に搭載が可能。回生電圧の24Vから補機用の12Vに降圧する▽車載補機用の絶縁双方向電力変換器(1.8kW)：EV駆動用の高圧電池から補機用の12Vに変換する補機用電力変換器(DCDCコンバーター)▽超小型・軽量の絶縁双方向電力変換器(1kW)：次世代パワー半導体の窒化ガリウム(GaN)を使用し、高周波スイッチング技術を採用することで超小型・軽量化を実現した同社独自の最先端技術——など。